

### (1) 「意見」の定義

- 「意見」と言われると、確立された考えやネガティブなことを言わなければいけないように感じる
- 子供の意見は、言葉だけではなく行動等でも表出されることがある
- 子供が意見を表明するためには、聞く・伝えるという支援以外に、意見を形成する支援を行うことが重要

### (2) 信頼関係

#### ■ 子供と大人の信頼関係

- 信頼関係のない大人には話しづらい、近い関係の人に相談したい
- 信頼関係を構築するためには、それぞれの子供に応じた細やかなコミュニケーションが必要
- 一定の距離感がある人の方が話しやすい
- 性別や年齢が話しやすさに関係するかは子供による
- 子供と大人の相性が悪い場合など、支援がうまくいかないケースをサポートできる仕組みが必要

#### ■ 大人と大人の信頼関係

- 子供を支援する大人同士が、対等な関係を築き、信頼関係を築いた上で、連携していくことが必要
- 子供の希望に応じて意見を代弁する場合でも、大人同士は中立な関係を保つことが必要

### (3) 相談方法

- 直接話して相談したい
- 困難な環境にあることに子供自身が気が付けない場合もあるので、定期的に面談をして自身の境遇を把握できると良い
- 話すのが苦手な子供が相談するとき、初めての人に相談するときは、手紙も有効な方法
- 手紙を書くのは面倒くさい、手紙だけでは言いたいことが伝わらない
- 手紙、電話、メール、LINE、話しやすい人に代わりに伝えてもらう、など様々な相談方法があると良い

### (4) 子供の制度理解

- 子供には、児童福祉司、児童心理司、施設等の職員、里親、第三者委員など既に多くの大人が関わっているが、子供自身が制度を十分に理解できていないことがある
- それぞれの大人の役割や立場の違いをしっかりと説明し、子供が理解できるようにすることが必要

### (5) 子供の最善の利益と意見表明等支援

- 「子供の最善の利益」という結論ありきで、子供を説得したり、関係を調整したりするものではない
- 子供の意見表明等の先に最善の利益があると考え、子供の意見をしっかりと聞いていくことが必要